

授業科目 治療学演習 II

【担当教員名】 小林 量作、星 孝		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30 (10)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
1. 実習で接する代表的な疾患のADL問題点、目標設定、プログラム立案ができる。 2. 学生のグループ発表から模擬事例のプログラム立案・模擬指導ができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 整形疾患、中枢神経疾患のADL指導を習得している。 2. 起居動作の介助・指導を習得している。 3. 移乗動作の介助・指導を習得している。 4. ADL上のリスク管理ができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ADL評価、問題点、目標、プログラムまでの概論			1～4	担当：小林 量作 他
2	グループ討論・実技			1～4	担当：小林 量作 他
3	グループ討論・実技			1～4	担当：小林 量作 他
4	グループ討論・実技			1～4	担当：小林 量作 他
5	グループ討論・実技			1～4	担当：小林 量作 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書		日常生活活動（動作）－評価と訓練の実際－	土田弘吉 編 他	医歯薬出版	1992
		日常生活活動（ADL）	橋本 隆 他 他	神陵文庫	1998
その他の資料		資料配付			
【評価方法】 出席、レポート、実技試験			【履修上の留意点】 実習できる服装		